

令和元年 9月30日
統計部公表

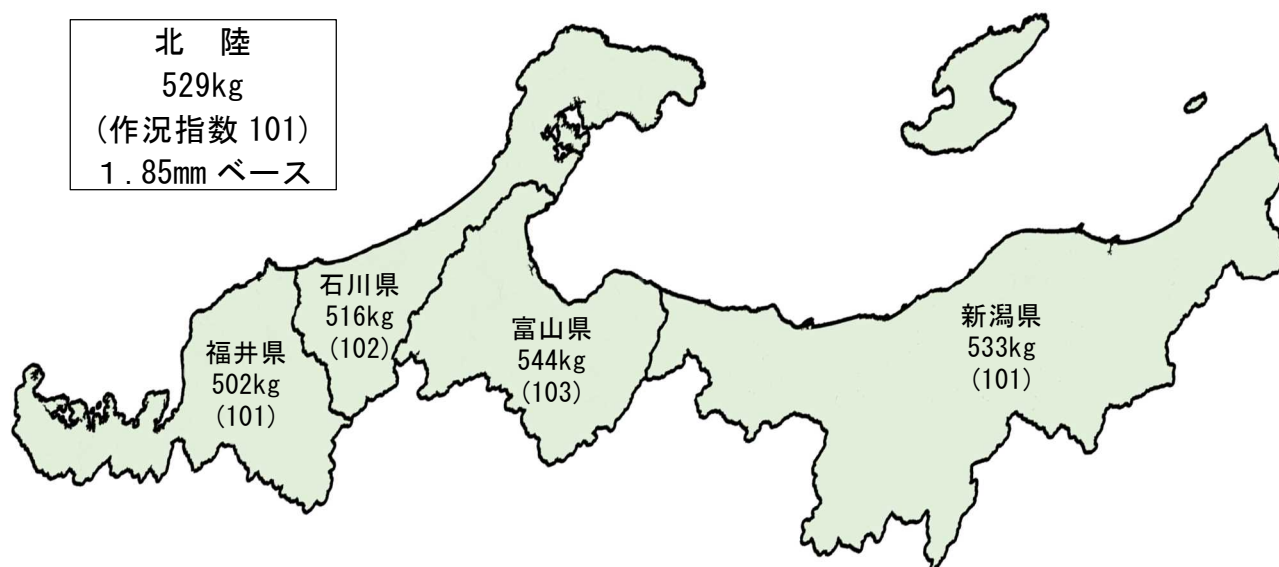
令和元年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（北陸）

－ 10 a 当たり予想収量は529kg、作況指数は101の見込み －

【調査結果の概要】

- 1 令和元年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は21万2,800haで、うち主食用作付見込面積は18万6,400haが見込まれる。
- 2 水稻の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.85mm）の10 a 当たり予想収量は529kgで、作況指数は101が見込まれる。

図1 県別10 a 当たり予想収量及び作況指数（9月15日現在）



- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（令和元年9月15日現在）を除いた面積（見込み）である。
- 10 a 当たり予想収量及び作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでのふるい目幅（北陸は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
- 本調査における作柄概況（9月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

本資料は、北陸農政局ホームページ中の「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/hokuriku/stat/data/2019yotei.html> 】

◎ 水稻調査結果の主な利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料

◎累年データ

水稻の年次別推移（北陸）

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む)		10 a 当たり 収 量 (1.70mm)	収 穫 量 (子実用)	参 考		作況指数
	子実用				主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	
	ha	ha	kg	t	ha	t	
平成 21 年産	211,200	210,000	528	1,108,000	201,400	1,062,000	99
22	213,000	210,900	526	1,109,000	198,300	1,043,000	99
23	212,900	208,800	537	1,122,000	195,500	1,050,000	101
24	213,400	209,400	545	1,141,000	194,100	1,057,000	102
25	215,100	212,700	545	1,160,000	193,900	1,058,000	102
26	215,500	212,500	536	1,139,000	190,000	1,019,000	100
27	214,100	207,800	531	1,104,000	184,100	977,800	99
28	213,400	205,600	567	1,165,000	182,100	1,031,000	107
29	212,500	204,100	529	1,079,000	180,100	952,100	98
30	212,700	205,600	533	1,096,000	184,800	985,300	98
令和元年産(見込み)	212,800	..	543	..	186,400	1,012,000	101

資料：農林水産省統計部『作物統計』

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 2 10 a 当たり（予想）収量及び（予想）収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（令和元年9月15日現在）を除いた面積（見込み）である。
- 4 作況指数は、平成27年産からは北陸地域に所在する農家等が実際に使用したふるい目幅分布において、その目幅が大きいものから数えて9割を占めるまでのふるい目幅（1.85mm）以上で選別された玄米を基に算出した数値である。なお、26年産までは1.70mmのふるい目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
- 5 「..」は、未発表であることを示している。

水稻の年次別推移（新潟県）

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む)		10 a 当たり 収 量 (1.70mm)	収 穫 量 (子実用)	参 考		作況指数
	子実用				主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	
	ha	ha	kg	t	ha	t	
平成 21 年産	118,400	117,400	534	626,900	111,200	593,800	99
22	119,600	117,900	524	617,800	108,600	569,100	97
23	120,000	117,400	538	631,600	108,100	581,600	100
24	120,100	117,500	558	655,700	107,300	598,700	104
25	121,100	119,700	555	664,300	107,100	594,400	103
26	121,700	120,100	547	656,900	105,300	576,000	101
27	121,300	117,500	527	619,200	102,400	539,600	97
28	121,300	116,800	581	678,600	101,500	589,700	108
29	120,900	116,300	526	611,700	100,300	527,600	96
30	121,500	118,200	531	627,600	104,700	556,000	95
令和元年産(見込み)	121,900	..	546	..	106,800	583,100	101

◎累年データ（続き）

水稻の年次別推移（富山県）

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む)		10 a 当たり 収 量 (1.70mm)	収 穫 量 (子実用)	参 考		作況指数
	子実用				主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	
	ha	ha	kg	t	ha	t	
平成 21 年産	39,600	39,500	537	212,100	38,200	205,100	100
22	39,900	39,800	538	214,100	38,100	205,000	101
23	39,600	38,900	551	214,300	36,500	201,100	103
24	39,800	39,000	536	209,000	36,300	194,600	100
25	40,200	39,700	546	216,800	36,300	198,200	102
26	40,200	39,500	541	213,700	35,700	193,100	101
27	39,500	38,600	559	215,800	34,200	191,200	103
28	39,300	38,100	566	215,600	33,800	191,300	106
29	39,100	37,600	546	205,300	33,300	181,800	100
30	38,900	37,300	552	205,900	33,300	183,800	102
令和元年産(見込み)	38,900	..	556	..	33,300	185,100	103

水稻の年次別推移（石川県）

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む)		10 a 当たり 収 量 (1.70mm)	収 穫 量 (子実用)	参 考		作況指数
	子実用				主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	
	ha	ha	kg	t	ha	t	
平成 21 年産	26,400	26,400	511	134,900	25,900	132,300	98
22	26,600	26,400	524	138,300	25,500	133,600	101
23	26,500	26,000	528	137,300	25,200	133,100	102
24	26,800	26,400	526	138,900	25,100	132,000	101
25	27,000	26,700	522	139,400	25,000	130,500	101
26	27,000	26,600	508	135,100	24,300	123,400	98
27	26,700	26,100	522	136,200	23,600	123,200	101
28	26,400	25,600	534	136,700	23,200	123,900	104
29	26,100	25,300	519	131,300	23,200	120,400	99
30	25,800	25,100	519	130,300	23,200	120,400	100
令和元年産(見込み)	25,600	..	532	..	22,700	120,800	102

水稻の年次別推移（福井県）

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む)		10 a 当たり 収 量 (1.70mm)	収 穫 量 (子実用)	参 考		作況指数
	子実用				主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	
	ha	ha	kg	t	ha	t	
平成 21 年産	26,900	26,800	500	134,000	26,100	130,500	97
22	27,000	26,800	518	138,800	26,100	135,200	100
23	26,800	26,500	523	138,600	25,600	133,900	101
24	26,700	26,400	519	137,000	25,400	131,800	100
25	26,900	26,500	526	139,400	25,600	134,700	102
26	26,600	26,200	510	133,600	24,700	126,000	98
27	26,400	25,600	518	132,600	23,900	123,800	99
28	26,300	25,100	535	134,300	23,600	126,300	104
29	26,300	24,900	525	130,700	23,300	122,300	101
30	26,400	25,000	530	132,500	23,600	125,100	101
令和元年産(見込み)	26,400	..	523	..	23,600	123,400	101

【北陸地域の調査結果】

1 北陸地域における令和元年産水稻の作付面積(青刈り面積を含む。以下同じ。)は21万2,800haで、前年産に比べ100haの増加が見込まれる。

なお、水稻作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付見込面積は18万6,400haが見込まれる。

2 9月15日現在における水稻の作柄は、全もみ数(穂数×1穂当たりもみ数)は、新潟県、富山県、石川県及び福井県で「やや多い」となった。

登熟は、新潟県、富山県及び福井県で「やや不良」、石川県で「平年並み」が見込まれる。

農家等が使用しているふるい目幅ベース(1.85mm)の10a当たり予想収量は、新潟県は533kg(前年産に比べ33kg増加)、富山県は544kg(同9kg増加)、石川県は516kg(同9kg増加)、福井県が502kg(同1kg減少)で、北陸全体では、529kg(同21kg増加)が見込まれる。

作況指数は、新潟県が101、富山県が103、石川県が102、福井県が101で、北陸全体では101が見込まれる。

表1 令和元年産水稻の作付面積及び10a当たり予想収量(9月15日現在)

区分	作付面積(青刈り面積を含む)			参考 主食用作付 見込面積	農家等が使用しているふるい目幅ベース(1.85mm)			
	実数	前年産との比較			10a当たり予想収量		10a当たり 平年収量	作況指数
		対差	対比		実数 ①	前年産との 対差		
	ha	ha	%	ha	kg	kg	kg	
北 陸	212,800	100	100	186,400	529	21	522	101
新潟県	121,900	400	100	106,800	533	33	528	101
富山県	38,900	0	100	33,300	544	9	528	103
石川県	25,600	△200	99	22,700	516	9	506	102
福井県	26,400	0	100	23,600	502	△1	499	101

注：1 作付面積(青刈り面積を含む。)及び主食用作付見込面積はラウンドしているため、県ごとの積上げ値が北陸値と一致しない場合がある。

2 農家等が使用しているふるい目幅ベースとは、北陸地域において過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅(1.85mm)以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

表2 令和元年産水稻の作柄概況及び刈取済面積割合(9月15日現在)

区分	作柄概況(平年比較)				刈取済面積 割合
	穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数 の多少	登熟の良否	
北 陸	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	48
新潟県	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良	32
富山県	多い	やや少ない	やや多い	やや不良	70
石川県	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	71
福井県	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良	75

注：本表における平年比較の表示区分は、「良・多い」が対平年比106%以上、「やや良・やや多い」が105~102%、「平年並み」が101~99%、「やや不良・やや少ない」が98~95%に相当する。

【管内各県の調査結果】

1 新潟県

- (1) 水稻の作付面積（青刈り面積を含む。以下同じ。）は12万1,900haで、前年産に比べ400haの増加が見込まれる。

このうち、主食用作付見込面積は10万6,800haが見込まれる。

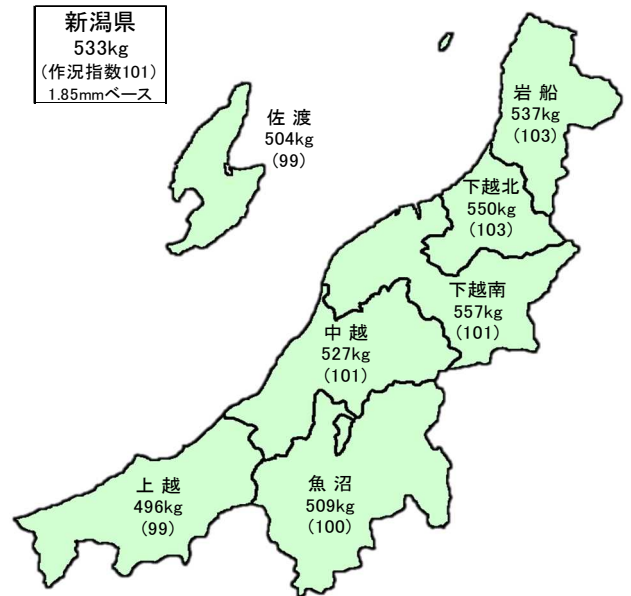
- (2) 作柄は、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数。以下同じ。）は、田植期以降、おおむね高温・多照で経過したことから、「やや多い」となった。

登熟は、8月下旬の寡照・多雨により緩慢になったことから、「やや不良」が見込まれる。

農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.85mm。以下同じ。）の10a当たり予想収量は533kg（前年産に比べ33kgの増加）で、作況指数は101が見込まれる。

図2

新潟県の作柄表示地帯別
10a 当たり予想収量及び作況指数
(9月15日現在)



2 富山県

- (1) 水稻の作付面積は3万8,900haで、前年産並みが見込まれる。

このうち、主食用作付見込面積は3万3,300haが見込まれる。

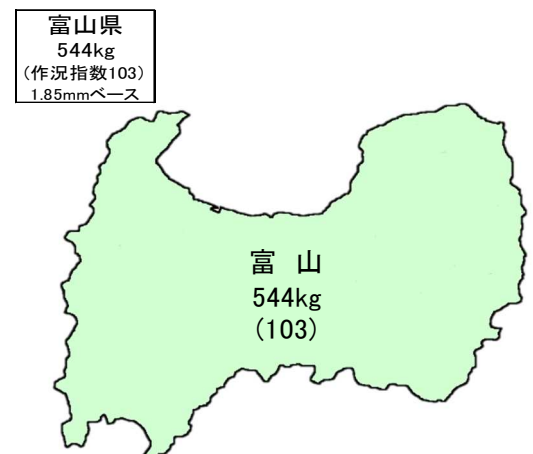
- (2) 作柄は、全もみ数は、田植期以降、おおむね高温・多照で経過したことから、「やや多い」となった。

登熟は、8月下旬の寡照・多雨により緩慢になったことから、「やや不良」が見込まれる。

農家等が使用しているふるい目幅ベースの10a 当たり予想収量は、全もみ数が他県より多かったことから、544kg（前年産に比べ9kgの増加）で、作況指数は103が見込まれる。

図3

富山県の10a 当たり予想収量及び
作況指数 (9月15日現在)



3 石川県

(1) 水稻の作付面積は2万5,600haで、前年産に比べ200haの減少が見込まれる。

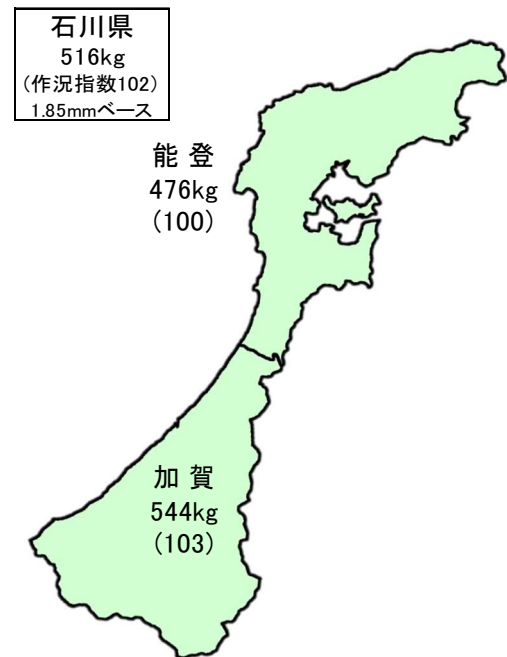
このうち、主食用作付見込面積は2万2,700haが見込まれる。

(2) 作柄は、全もみ数は、田植期以降、おおむね高温・多照で経過したことから、「やや多い」となった。

登熟は、他県に比べて出穂期が早く、8月下旬の寡照・多雨の影響が少なかったことから、「平年並み」が見込まれる。

農家等が使用しているふるい目幅ベースの10aあたり予想収量は516kg（前年産に比べ9kgの増加）で、作況指数は102が見込まれる。

図4
石川県の作柄表示地帯別
10aあたり予想収量及び作況指数
(9月15日現在)



4 福井県

(1) 水稻の作付面積は2万6,400haで、前年産並みが見込まれる。

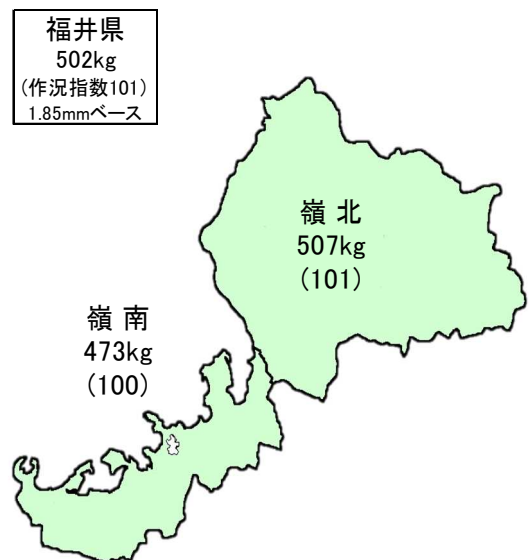
このうち、主食用作付見込面積は2万3,600haが見込まれる。

(2) 作柄は、全もみ数は、田植期以降、おおむね高温・多照で経過したことから、「やや多い」となった。

登熟は、8月下旬の寡照・多雨により緩慢になったことから、「やや不良」が見込まれる。

農家等が使用しているふるい目幅ベースの10aあたり予想収量は502kg（前年産に比べ1kgの減少）で、作況指数は101が見込まれる。

図5
福井県の作柄表示地帯別
10aあたり予想収量及び作況指数
(9月15日現在)



【統計表】

統計表一覧

- 1 令和元年産水稻の作付面積、10 a 当たり予想収量及び作柄概況（9月15日現在）
- 2 令和元年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合（9月15日現在）

利用上の注意

- 1 統計数値については、次表の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「△」：負数又は減少したもの
- 3 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和元年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（北陸）」による旨を記載して下さい。

【統計表】

1 令和元年産水稻の作付面積、10a当たり予想収量及び作柄概況（9月15日現在）

区 分	作付面積（青刈り面積を含む）			10a当たり 予想収量 (1.70mm) ①	農家等が使用しているふるい目幅ベース(1.85mm)		
	実 数	前年産との比較			10a当たり 予想収量 ②	10a当たり 平年収量 ③	作況指数 ④=②/③
		対 差	対 比				
	ha	ha	%	kg	kg	kg	
北 陸	212,800	100	100	543	529	522	101
新 潟 県	121,900	400	100	546	533	528	101
岩 船	6,580	△ 10	100	546	537	521	103
下越北	17,600	100	101	563	550	535	103
下越南	35,000	100	100	571	557	552	101
中 越	25,600	△ 100	100	543	527	524	101
魚 沼	15,600	200	101	518	509	509	100
上 越	15,400	0	100	515	496	503	99
佐 渡	6,000	△ 20	100	522	504	510	99
富 山 県	38,900	0	100	556	544	528	103
石 川 県	25,600	△ 200	99	532	516	506	102
加 賀	14,700	△ 100	99	558	544	527	103
能 登	10,900	△ 200	98	496	476	476	100
福 井 県	26,400	0	100	523	502	499	101
嶺 北	22,400	0	100	529	507	504	101
嶺 南	3,980	△ 20	100	490	473	473	100

区 分	参 考		作柄概況（平年比較）			
	主食用作付 見込面積 ⑤	予想収穫量 (主食用) ⑥=①×⑤	穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数 の多少	登熟の良否
	ha	t				
北 陸	186,400	1,012,000	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
新 潟 県	106,800	583,100	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良
岩 船	やや多い	やや少ない	平年並み	やや良
下越北	多い	やや少ない	やや多い	やや不良
下越南	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良
中 越	多い	平年並み	多い	やや不良
魚 沼	やや多い	平年並み	平年並み	やや不良
上 越	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良
佐 渡	多い	少ない	平年並み	やや不良
富 山 県	33,300	185,100	多い	やや少ない	やや多い	やや不良
石 川 県	22,700	120,800	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
加 賀	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
能 登	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
福 井 県	23,600	123,400	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良
嶺 北	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良
嶺 南	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み

注：1 作付面積（青刈り面積を含む。）及び主食用作付見込面積はラウンドしているため、県ごとの積上げ値が北陸値と一致しない場合がある。

2 10a当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 農家等が使用しているふるい目幅ベースとは、北陸地域において過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

4 北陸の予想収穫量（主食用）については県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算と一致しない場合がある。

5 本表における平年比較の表示区分は、「良・多い」が対平年比106%以上、「やや良・やや多い」が105～102%、「平年並み」が101～99%、「やや不良・やや少ない」が98～95%、「不良・少ない」が94%以下に相当する。

2 令和元年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合（9月15日現在）

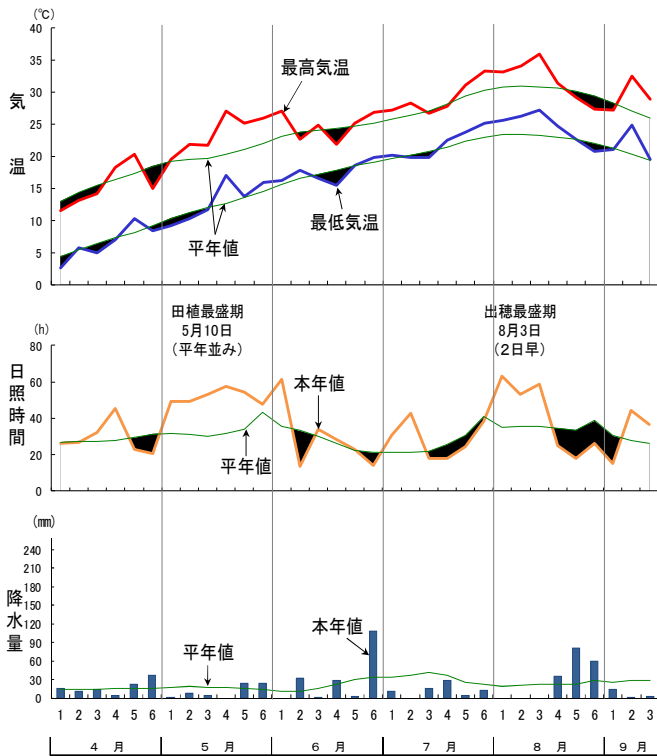
区分	出 穂 期					刈取済面積割合
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較		
				対平年差	対前年差	
	月 日	月 日	月 日			%
北 陸	7. 22	8. 2	8. 11	1日早	1日遅	48
新潟県	7. 24	8. 3	8. 12	2日早	並み	32
岩 船	7. 27	8. 6	8. 11	2日早	2日早	15
下越北	7. 24	8. 2	8. 8	4日早	2日早	20
下越南	7. 22	8. 3	8. 13	1日早	1日遅	40
中 越	7. 21	8. 2	8. 11	2日早	並み	50
魚 沼	7. 29	8. 2	8. 13	4日早	1日早	6
上 越	7. 21	8. 1	8. 14	3日早	1日早	35
佐 渡	7. 28	8. 5	8. 14	2日早	2日早	25
富山県	7. 21	8. 1	8. 8	並み	2日遅	70
石川県	7. 17	7. 29	8. 3	並み	2日遅	71
加 賀	7. 15	7. 27	8. 1	1日遅	2日遅	77
能 登	7. 19	7. 30	8. 5	1日早	2日遅	63
福井県	7. 15	8. 2	8. 13	2日遅	6日遅	75
嶺 北	7. 15	8. 2	8. 13	2日遅	6日遅	75
嶺 南	7. 13	8. 2	8. 13	2日遅	6日遅	77

注： 出穂期の始期、最盛期、終期とは、出穂済面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。

◎関連データ
令和元年アメダス半旬別気象グラフ

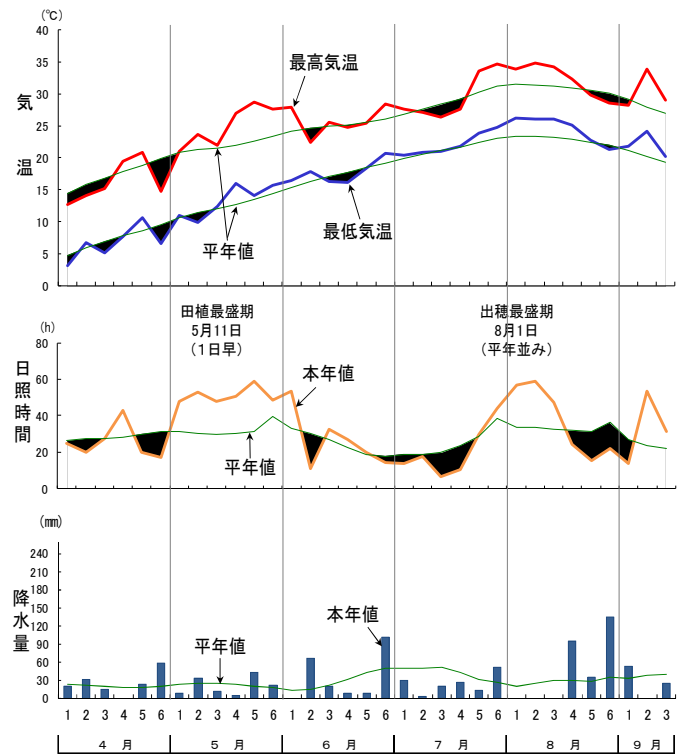
1 新潟

令和元年 アメダス半旬別気象グラフ(新潟)



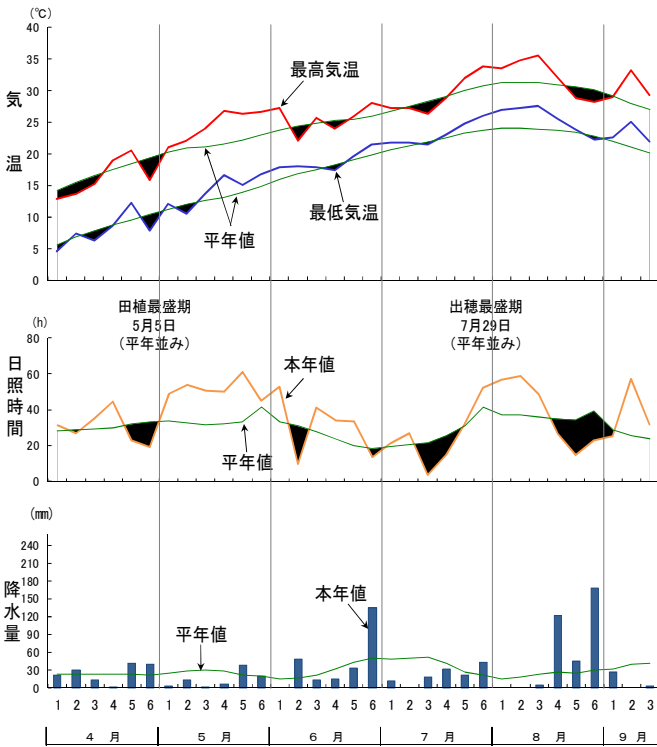
2 富山

令和元年 アメダス半旬別気象グラフ(富山)



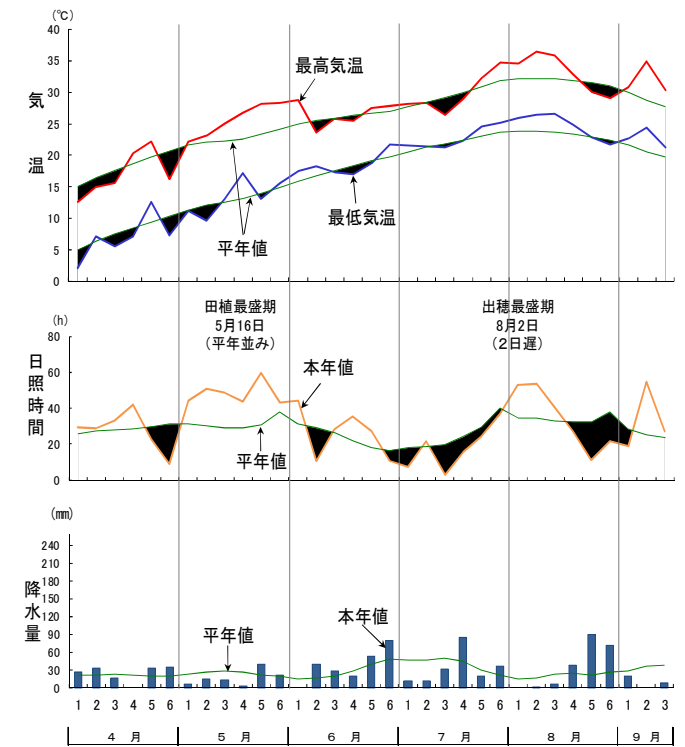
3 金沢

令和元年 アメダス半旬別気象グラフ(金沢)



4 福井

令和元年 アメダス半旬別気象グラフ(福井)



【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び作柄概況調査として実施したものであり、水稻の作付面積、作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給見通しの策定、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査対象数

(1) 作付面積調査

北 陸	標本単位区	： 3,451単位区
新潟県	標本単位区	： 1,682単位区
富山県	標本単位区	： 704単位区
石川県	標本単位区	： 574単位区
福井県	標本単位区	： 491単位区

(2) 作柄概況調査

北 陸	作況標本筆	： 1,180筆	作況基準筆	： 31筆
新潟県	作況標本筆	： 500筆	作況基準筆	： 16筆
富山県	作況標本筆	： 220筆	作況基準筆	： 4筆
石川県	作況標本筆	： 230筆	作況基準筆	： 6筆
福井県	作況標本筆	： 230筆	作況基準筆	： 5筆

※作況基準筆は、地域の代表的なほ場を有意に選定し、水稻の草丈、茎数、穂数、一穂当たりもみ数等について測定を行い、本年の気象経過による作柄及び被害の特徴とその原因を把握する。

3 調査事項

水稻の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況及び耕種状況

4 調査期日

- (1) 作付面積調査：令和元年7月15日現在
- (2) 作柄概況調査：令和元年9月15日現在

5 調査・集計方法

(1) 作付面積調査

職員又は統計調査員による標本単位区に対する実測調査により行った。なお、職員による巡回・見積りにより実測調査結果を補完して取りまとめている。

(2) 作柄概況調査

職員又は統計調査員による作況標本筆及び作況基準筆に対する実測調査により行った。なお、職員又は統計調査員による巡回・見積りにより実測調査結果を補完して取りまとめている。

6 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて、飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米等を指す。

- (2) 「穂数の多少」とは、1 m²当たりの穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (3) 「1穂当たりもみ数の多少」とは、1穂についているもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (4) 「全もみ数の多少」とは、1 m²当たりのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (5) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。
- (6) 前述の平年比較とは、過年次の作況標本筆の実測調査結果から作成した各収量構成要素（1 m²当たり穂数等）の平年値との比較である。

多 少 (良 否)	少ない (不良)	やや少ない (やや不良)	平年並み	やや多い (やや良)	多い (良)
対平年比	94%以下	95%～98%	99～101%	102～105%	106%以上

- (7) 「作況指数」とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。

なお、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出していたが、平成27年産以降の作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値であり、北陸においては1.85mmを用いている。

- (8) 「10 a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。

7 作柄表示地帯とそれに含まれる市町村

県	作柄表示地帯	市町村					
新潟県	岩 船	村上市	関川村	粟島浦村			
	下 越 北	新発田市	阿賀野市	胎内市	聖籠町		
	下 越 南	新潟市	燕市	五泉市	弥彦村	阿賀町	
	中 越	長岡市	三条市	柏崎市	加茂市	見附市	田上町
	魚 沼	出雲崎町	刈羽村				
	上 越	小千谷市	十日町市	魚沼市	南魚沼市	湯沢町	津南町
佐 渡	糸魚川市	妙高市	上越市				
富山県	富 山	県下全市町村					
石川県	加 賀	金沢市	小松市	加賀市	かほく市	白山市	能美市
		川北町	野々市市	津幡町	内灘町		
	能 登	七尾市	輪島市	珠洲市	羽咋市	志賀町	宝達志水町
福井県		中能登町	穴水町	能登町			
	嶺 北	福井市	大野市	勝山市	鯖江市	あわら市	越前市
		坂井市	永平寺町	池田町	南越前町	越前町	
	嶺 南	敦賀市	小浜市	美浜町	高浜町	おおい町	若狭町

8 その他

- (1) この資料のうち作付面積の数値は、概数値である。
確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和2年2月予定）するとともに、その後刊行する「令和元年耕地及び作付面積統計」に掲載する。
なお、確定した詳細な数値をホームページに掲載した後の正誤情報は、ホームページでお知らせする。
- (2) 本調査における作柄概況（9月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

【ホームページ掲載案内】

○北陸の各種農林水産統計調査結果は、北陸農政局ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/hokuriku/stat/> 】

○各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html 】

お問合せ先

◎本統計調査結果について

連絡先：北陸農政局 統計部
生産流通消費統計課
電 話：（代表）076-263-2161 内線 3647
（直通）076-232-4895

連絡先：北陸農政局統計部（新潟県担当）
電 話：025-224-1441

連絡先：北陸農政局統計部（富山県担当）
電 話：076-441-0340

連絡先：北陸農政局統計部（石川県担当）
電 話：076-241-3175

連絡先：北陸農政局統計部（福井県担当）
電 話：0776-22-3676

◎農林水産統計全般について

連絡先：北陸農政局 統計部
統計企画課 企画係
電 話：（代表）076-263-2161 内線 3623
（直通）076-232-4892



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)
<http://www.e-stat.go.jp/>



令和2年2月1日現在で、2020年農林業センサスを実施します。

- 農林業経営体調査（令和元年12月中旬～令和2年2月末）
- 農山村地域調査（令和元年12月上旬～令和2年2月末）

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いします。
また、調査票はオンラインによる回答も可能です。

農林業センサスホームページURL：<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc>